

令和 3 年度第 1 回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(相談支援部会)

活動報告 (専門部会)	<ul style="list-style-type: none">・COVID-19 のため、令和 2 年 2 月 20 日が開催最終で 3 月の開催は中止 (令和元年度)。・令和 2 年度は緊急事態宣言等をうけ、行政からの指導にて部会開催はせず。・令和 2 年 9 月, 10 月, 11 月, 令和 3 年 2 月に運営会議のみ実施した。 内容: 近況、今後の部会について、コロナ禍での勤務状況、困り事、等⇒議論するが結論出ず。・令和 3 年 8 月 17 日 基幹相談支援センター、部会長、事務局と顔合わせにて、これまでの部会の運営や今後の活動のあり方等について意見交換。
課題 (専門部会)	<ul style="list-style-type: none">・今後の部会運営および開催方法。・地域の相談機関 (相談支援事業所、基幹相談支援センター、児童発達支援センター、地域生活支援拠点、発達障害支援拠点) の役割分担の分かりにくさと実際の機能。
議題 (意見交換・情報共有したい事項など)	<ul style="list-style-type: none">・部会未開催のため、特記なし。
本会議での報告事項	<ul style="list-style-type: none">・部会未開催のため、特記なし。
その他	COVID-19 の蔓延および感染予防の観点から厚生労働省、東京都、目黒区からの情報共有および通知に沿って業務を行っている。

令和3年度第1回目黒区障害者自立支援協議会 運営会議 報告事項

(高齢化・グループホーム対策部会)

活動報告（専門部会）	
・昨年1月開催の部会(出席 11 名)以降は休止が続いている。 ・今回の報告を前に、旧部会員(事業所、個人)を対象にアンケートを実施。回答7件。	
課題（専門部会）	
(上記アンケート回答より抜粋) ・本人の体調等の変化(視力・聴力低下や認知症発症、排泄の失敗の増加、歩行の困難さ増加、易怒性の増加、作業精度と従事時間の低下等)。 ・家族の高齢化が関係する課題は、以前よりも増加。 ・現在GHには高齢者も多数入居しているが、介護保険への移行推進の必要はないか？ ・成年後見制度の活用もあまり進んでいない。いかに周知、浸透させていくか。 ・GHへ入居後、高齢の親のみの世帯となり、外部とのつながりが激減となるケースも。 ・GH数が不足している。入居相談をいただくことは多いが、空きがない。 ・ここ1～2年、両親が高齢等の理由により数名の利用者が都外施設に入所された。 重度障害者はやはり地域で暮らすことは難しいのかな、と感じてしまう。	
議題（意見交換・情報共有したい事項など）	
(上記アンケート回答より意見抜粋) ◎連携を強化するために、お互いの情報を共有できる機会が必要(意見多数) ・例えば、GH事業所連絡会の設置や、職員の認知症研修会など。 ・各施設の高齢の方の在籍人数、状況、課題等のデータ化(他施設の状況がわかると施設間でも相談しやすくなるのではないか)。 ・高齢者の事業者との情報交換と関係強化。 ・直接参加できなくても、協議会・部会の情報を知って参考にできることがある。 ◎コロナ禍における活動提供、家族対応状況の共有 ・長期欠席による体力減退利用者への活動提供の工夫、また在宅支援の実施状況等。 ・家族対応や他機関との連携はどのように取り組んでいるか。 ・他事業所のコロナ対策を教えてください。 ・コロナ後の明るい未来について意見交換したい。	
本会議での報告事項	
・特になし	
その他	
・今回の運営会議を契機に、部会でもオンライン会議を始められればよいと思います。	

令和3年度第1回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項

(一般就労部会)

活動報告（専門部会）	
<p>本会の開催が中止になり、専門部会の開催も自粛要請があり、一般就労部会としての活動はしていません。</p> <p>昨年度末に今年度の活動についてと各事業所の情報交換を書面で行いました。</p>	
課題（専門部会）	
<p>今回の本報告を行うに当たって、部会員へ調査を行ったところ、コロナ禍の影響で、就労活動が思うように進まないことや、契約の更新がなされない、テレワーク指示を受けて、生活リズムが狂っている、等の利用者の困りごとが伝わってきました。</p> <p>そんな中で、一時的にでも他の福祉サービスの利用ができるような運用を希望している事業所もありました。</p> <p>どこの事業所も他の機関との情報交換を希望しているので、一般就労部会の活動とは切り離して、就労支援センターとして関係事業者間の情報交換会を検討したいと考えています。</p>	
議題（意見交換・情報共有したい事項など）	
<p>本会での議題は特にありません。</p>	
本会議での報告事項	
その他	

**令和3年度第1回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項
(施設就労部会)**

活動報告（専門部会）	
	<p>2020年3月以降、部会活動は行っていない。 今回、運営会議に向けて2019年度の部会員名簿をもとに、メールで意見収集を行う。 (現在まで3事業所から回答)</p>
課題（専門部会）	
	<p>①コロナの影響下で就労支援事業収入の大幅な減少(自主製品の販売先減少、受注作業の発注元の減少、受注量の減少)への対策 ②利用者の高齢化への対策 ③長期間通所利用がない利用者への対応</p>
議題（意見交換・情報共有したい事項など）	
	<p>上記①について、参考となる取組等の意見があれば伺いたい。 上記②については、今後他の部会とも共有できる課題として取り組むことができると考えている。</p>
本会議での報告事項	
	<p>特になし</p>
その他	

**令和3年度第1回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項**

(子ども部会)

活動報告 (専門部会)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナ禍による世情により集まって行うことが憚られ、行政職の部会員についてはオンライン開催も難しかったため、7月末時点で部会を開催することができなかった。 ・7月20日(火)運営会議メンバーで集まり今後の方針について検討、部会員に対してアンケート調査を実施(回答期間7/21~7/31、回答者数15名/26名中)。 ・アンケートに答えてくれた15名全員が今後の部会参加を表明。 ・8月26日(木)運営会議を開催し、アンケート結果に基づき今後のスケジュールや役員体制について検討。10月19日(火)オンラインで部会を開催予定。
課題 (専門部会)	<ul style="list-style-type: none"> ・従来通りの頻度(月1回程度)という意見が多かったが、感染状況も考え2か月~3か月に1回という意見も含め適宜という意見が大半を占めた。 ・部会員の多くは情報共有も含め、定期的に集まりたいという希望がある。 ・一方で行政職の部会員はオンライン開催だと職場の関係で参加が難しい方もあり、リアルな会場となると感染者が増え続けている現状では開催が難しい。 ・予算がついていないため、活動内容が制限されることがある。
議題 (意見交換・情報共有したい事項など)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における協議会、専門部会のあり方について
本会議での報告事項	
その他	

**令和3年度第1回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項**
(意思疎通支援部会)

活動報告（専門部会）	
	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルスにより活動自粛。・当事者団体では、必要に応じて当事者へ連絡し、状況確認を行っている。
課題（専門部会）	
	<ul style="list-style-type: none">・障害者及びその家族による会なので、現状の状況において、集まることが不可能。 障害特性から、オンラインの活用も難しく、情報収集ができていない。
議題（意見交換・情報共有したい事項など）	
	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍で、意思疎通が難しい障害者が陽性となった場合の療養先、介護者が発症した場合の生活の場に、本人状況を理解してもらえるか不安を抱えている方が多い。・コロナ禍で生じている悩み、新しいニーズについて、情報共有する必要がある。
本会議での報告事項	
	<ul style="list-style-type: none">・特になし。
その他	

令和3年度第1回目黒区障害者自立支援協議会
運営会議 報告事項

(防災部会)

活動報告（専門部会）	
令2年2月18日 防災部会 研修会を行う。 内容：○区内全体の防災計画 ○ヘルプカードの記載方法 ○事業所のBCP等意見交換 ○非常食の試食会 上記研修以降の活動はなし。	
課題（専門部会）	
○防災部会のチーム編成について 会長・副会長・部会メンバー・事務局の選出 ○活動内容について 防災部会は全体の共通テーマで課題や意見が広範囲なため 自助・公助・共助・互助（近所）および事業所のBCP（事業継続計画）の策定含めて検討するには防災計画に紐づけていかないと浸透していかない。	
議題（意見交換・情報共有したい事項など）	
○防災については各部会でも検討して上がった内容を精査または研修、活動につなげていけるように出来たら考えます。 また、上記のような共通課題を検討していくには利用者ニーズだけでなく、区内関係事業者がBCPへの意識調査や事業所の体力（人員・ハード・環境等）・ニーズを把握できるような事業者連絡会の設立を検討したい。 ○コロナ感染症対策の現状	
本会議での報告事項	
部会活動がないため 今回の運営会議の内容を報告	
その他	
○要配慮者個別支援プランの登録者数 ○福祉避難所の登録施設と備蓄体制 ○基幹型支援センターの活動 ○複合施設の取り組み など 情報提供希望	